



特別活動は学級・学校を変える！

名古屋市学校教育研究会
特別活動研究部会 会長
伊藤 一彦

みなさんに質問です。

「学級目標ってどうやってつくるのでしょうか？」

「そもそも、学級目標って何のためにあるのでしょうか？」

「子どもたちが元気になる魅力あふれる学校行事にするにはどうしたらいいのでしょうか？」

コロナ禍の中「人と人とのつながり」が制限された教育活動が行われました。一方、ICT機器の活用を始め、新たな施策が打ち出され、教育の進め方が大きく変化しています。こうした変化も含めて、特別活動実践研究会は改めて「人と人とのつながり」を大事にした活動を進めています。それはこれまで本研究会が目指してきたことであり、今後も目指し続けていくものです。

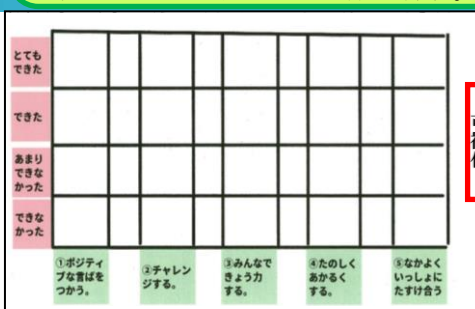
本研究会では、学級づくりの手法や魅力あふれる学校行事の進め方等を学ぶことができます。そして児童・生徒にこうしたことを熱く語る先生方が数多くいます。「特別活動は学級・学校を変える！」その思いをみなさんにも味わっていただきたいです。是非本研究会の扉をノックしてください。

特別活動 アイデアコーナー(小学校)

学級目標を、活用したい！！

「学級目標の実現度を可視化」しましょう。
低学年でも分かりやすい棒グラフを使うと児童が学級の実態をとらえやすいです。

- ① 学級目標「みんながニコニコ」の実現度アンケートを取り、結果をグラフで可視化する。
- ② グラフを基に、学級で頑張りたい目標を話し合う。
- ③ 学級で頑張りたい目標が決まったら、その目標を実現するための活動について話し合う。



学級目標の5つの要素

学級の現状を「見える化」することで、学級の課題に気付いたり、課題の実現状況を実感できたりします。月に1回程度行って、毎月頑張る目標を決め、活動内容を決めると、年間を通して常に学級として目標をもって活動することができます。



ニコニコグラフ



実践紹介 困難を乗り越えようと思えることができる児童の育成 ー 思考ツールを活用して ー 3年生

自分たちがどのような困難に直面しているのかを分析するために

① 現状を知る「振り返りシート」

現状をより明確化していくために「よかったこと・よくなかったこと」を明確にさせる。

かざり係	
よかったこと	よくなかったこと
少し教室がかわくなった	ハートのかざりばかり
好きな折り紙ができた	みんながかざりが好きか不安
かわいいと言ってくれた	かざりで遊ぶ人がある
輪っかをたくさん作れた	発表がうまくできない

② 困難を分析する「明確化シート」

「よくなかったこと」を全体で共有し、分類・整理する。



困難を乗り越えるために、話し合いながら思考し、解決策を見いだすために

③ 思考を広げる「視点カード」

できたことを生かす・協力を生かす・場所を生かす等の「視点カード」を基に児童の柔軟な思考を引き出す。



みんなでアンケートを作る。

困難に直面しても、自分たちで解決する手だてを示すことにより自分たちで解決する力を身に付けさせることができます。

その経験は、自信につながり、より一層積極的な活動につなげることができました。



野並小学校 坂本啓太

『特別活動を学び合おう！』 6月16日(金)

様々な学校における実践紹介やグループ学習、情報交換など、「明日の教室」で生かせることを学び合う会です。会員以外の若手の先生方も多数参加しました。

アクティビティの紹介 互いを尊重し、温かい人間関係の素地を養う

ひもを結びつけたペンを使い、仲間と協力してイラストを描く「イラストレーター」

- ① ペン1本にひもを5本ぐらい結びつける。（ひも1本1mくらい）
- ② 両端をそれぞれ違う人が持ち（5本→10人）、画用紙にお題のイラストを描く。
- ③ 制限時間内に書き終え、グループごとにイラストを見せ合い、完成度の高いグループが勝ち。

協力して描くため、チーム力が試されます！



作戦タイムを設定し、描き始めを相談したり、完成イメージを共有したりすることも効果的！



情報交換会 グループに分かれての学習・情報交換

「学級会・話し合い活動」「係活動」「児童会・生徒会活動」「学校行事」「キャリア教育」の中から学習したい分野を選び、グループに分かれて学び合いました。現在取り組んでいることや困っていること、もっと知りたいことなど、情報交換を通して、明日から取り組める活動のヒントを得ることができました。



『学級活動実技研修会』 8月8日(火)

猛暑の夏休み。「学級活動を学びたい！」というたくさんの先生方と研修会を行いました。

アイスブレイク

温かい雰囲気を作る、すきま時間にできるゲームを受講者の先生方と行いました。

《セブンイレブンじゃんけん》

二人組か三人組をつくって行います。「セブンイレブンじゃんけん、はい！」の掛け声で、指で「0～5」の数字を表し、数字の合計が、「7(セブン)」か、「11(イレブン)」になったら、ハイタッチをします。 ※ いろいろな数字で楽しめます



《なかまだイエーイ！》

数人のグループで、全員の共通点を探りながら「〇〇な人？」と質問します。質問に当てはまる人は手を挙げます。全員の共通点が見付かったら(全員が手を挙げたら)、「なかまだイエーイ！」と全員で大きな声で言います。



学級集会の体験

学級集会の指導のポイントを学び、実際に学級集会を計画して行いました。

学級集会の指導のポイント

学級集会では「ねらいを明確化する」「全員で役割分担する」「活動の見通しをもたせる」ことが大切です。振り返り活動では「必ず成功体験で終わらせる」「問い（発問）を工夫する」ことも大切です。



学級集会の体験を通して学ぼう

「お楽しみ会を開こう！」をテーマに、グループで学級集会を計画して行いました。「室内でできる」と「対象は他のグループの先生方」という条件のもと、「全員が活躍できる」というめあての達成を目指して取り組みました。発表会では、先生方の熱気で大盛り上がりでした。

